

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもプラス大網白里教室				公表日 2026年3月25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	2			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	2			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	2	写真や絵カード、アラームを使用し特性に応じてコミュニケーションがとれるようにしている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	2	学習スペースを設け、気持ちを落ち着ける場所としても利用している	児童が学習室と活動教室に分かれる場合のスタッフの配置に課題	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	3		目標設定の方向性が伝わっていない	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	3	毎年、保護者アンケートを実施しHP上で公開している アンケート結果はミーティングで共有	職員が全員周知できるようにする	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		10	法人として検討中		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	1	法人内では定期的に運動研修を行っている	定期的に短時間研修を実施し職員の資質の向上を図る	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	1	HPや保護者向けのお便りに掲載している	全スタッフがHPやお便りを確認できるようにする	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	1			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	1	職員に個別支援評価を配布し、保護者の要望、具体的な到達目標、本人の課題を記入してもらうようにしている	個別支援評価表を集計し、個別支援計画書作成時に反映していることを職員に周知していく	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1	ミーティング時にモニタリングの報告をし、出席できないスタッフには、出勤日に支援方法について共有		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	1			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	3	アクティビティ企画の担当職員を3名設け活動プログラムを決定	主な月別行事予定を作成し、プログラムをあらかじめ職員に周知して行う	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1	運動プログラムについては、研修に参加し目的別に実施できるように工夫している		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	1	当日の活動の内容や、送迎先の確認を行っている	出勤時に短時間ミーティングを行う
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1	子ども達の車内の様子など、当日の様子を話している	就業時間が限られている職員には申し送り表で確認をお願いする
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	2		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	3		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	2	本棚を整備し、自分で選べるようにしているおもちゃの写真をすべて取り、冊子にまとめ自ら指差しで選んでいる	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	2		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	3	保育所等訪問支援を実施 関係機関連携会議に参加	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	2	年間行事表、時間割など保護者から事前にコピーをもらうようにしている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	3		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	5	生活介護施設など前向きに移行していくため他事業所や相談支援員の方へ、利用していた時の個別支援計画を共有している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	7	児童発達支援センターの研修へ職員3名参加。研修報告書を共有済	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	7	地域の公園で遊びにきていた児童と一緒に遊ぶ姿もある	地域のイベントへ参加し交流していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	7	自立支援協議会の研修に参加している 関係者会議、放デイ連絡会に積極的に参加済	職員研修で内容を詳しく周知する必要がある
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	2	モニタリングで発達段階の資料を用いて説明をしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	2	お便りで保護者へ情報を提供している	保護者イベント等を企画し家族支援プログラムを実施できるよう準備する
保護者へ	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	2	契約時に説明をしている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	2	個別支援計画書を見ながら説明し、サインをもらう	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	2	個別支援計画書を見ながら説明し、サインをもらう	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	2	モニタリング以外で時間を設け家庭連携をしている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	4	保護者交流会の企画・実施を行う	

の 説 明 等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		苦情解決責任者が対応する体制がある	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	3	ブログやプラス通信で発信している 毎日、写真付きの連絡帳を配布している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	5	ボランティアの方に来所していただき 子どもたちにイベントを開催	地域の方にボランティアなどのお願いをしていく
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	2	消防訓練（総合訓練）を消防署予防課の方に来所していただいている 嘔吐処理研修実施	避難訓練を全スタッフに年2回は参加できるようにしていく 毎年4月のミーティングで説明する
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	2	消防訓練（総合訓練）を消防署予防課の方に来所していただいている	避難訓練を全スタッフに年2回は参加できるようにしていく 毎年5月のミーティングで説明する
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	3		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	4		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	3		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	3		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		毎月のミーティングでヒヤリハットの カンファレンスを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		法人で虐待防止チェックリスト、ストレス チェックを行っている	外部の研修に参加していく
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10				